

## 令和5年度 一関清明支援学校「公開講座」報告

令和5年度一関清明支援学校公開講座「病弱・身体虚弱児童生徒の理解と支援」を7月28日（金）に本校舎で行いました。病弱教育の経験がある本校職員が講師を務め、小中学校の特別支援学級を担当する先生方5名が参加されました。

当日は、病弱・身体虚弱の子どもたちの教育の場や、年齢とともに変わる病気とのかかわりについてなどの基礎的な内容と、医療との連携や合理的配慮について具体的な事例や取り組みの様子を交えながら紹介しました。

参加者の方からは、「学校・家庭・医療が連携をとりながら児童・生徒のよりよい学びの場を設定していくことの重要性を改めて感じた」や「生活規制があるから諦めるのではなく、児童生徒の気持ちを大切に、将来に向けて前向きに考えている子どもたちのために支援していくことの大切さが分かった」などの声が聞かれました。



### 事例～本校山目校舎 医療的ケア実施に係る主治医面談～

【目的】児童生徒の体調や医療的ケアの様子等を医療・学校・家庭で共通理解を図り、安全に医療的ケアを実施する。



36

### 2. 合理的配慮とは(学校現場において)

- ・学校の設置者及び学校が必要な変更・調整を行うこと。
- ・障がいのある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合、個別に必要とされるもの。
- ・学校の設置者及び学校に対して、体制面・財政面において、均衡を失した負担または過度な負担を課さないもの



### 《アンケートから》～研修を受けて実践できそうなこと・活用したいと感じたこと～

- ・ビデオを活用した医療とのつながりは、ぜひ活用したい。
- ・医師との面談やケース会議を行うことで、児童生徒へのより適切な支援につながると思うので、ほかの先生方や医師、デイサービスの職員、保護者の方と連携をし、多くの知識を身に付け、より良い支援をしていきたい。
- ・大学の進学に向けてのチーム作りも重要であると思い、今後活用していきたい。



TEL 0191-25-3210

担当：相談支援部・山目校舎小学部 森 智美